

2010年7月



保存メディアで重要なDVD&Blu-ray。種類がたくさんあるなか…どれを読み向か使つたらよいかの参考。

パソコンへわくら教室 新聞



DVDの種類。

DVDには数種類あり、一番の迷いどころでしょ。左の表はDVD規格をまとめたものです。

	種類	記憶容量
書換え不可	DVD-R	4.7GB (片面1層記録)
	DVD+R	8.5GB (片面2層記録)
	DVD-RW	
	DVD+RW	
書換え可	DVD-RAM	4.7GB (片面)
		9.4GB (両面)

書換え不可は、容量いっぱいまで書き込むことはできるが、書換えや消去をすることはできない。書換え可能は内容を消去して、再度書き換えることができる。
(+, -RW は 1000 回、RAM は 10 万回の書換えが可能)

選択肢が沢山あり、どう違つて、どう使い分けるのか? 分かりにくいでですね。

* 用途で分ける。

写真やカメラ撮影したビデオの保存は「R」がいいでしょう。
「R」がないと思いますので、パソコンのバックアップなどは「RW」がいいでしょう。
パソコンのデータはその都度更新されますので、バックアップもその都度書き換えておきたいものです。)

* +R (RW)と-R (RW)の違いは?

扱いに何の違いもありません。+規格は -より後発の規格の為、少し古いパソコンでは対応していないことがあります。

* RWとRAMの違いは?

RAMは書換え回数が10万回も可能です。
また、書込み操作は、HDDと同様の操作でも行えます。

* 専用プレーヤーで見るなら

確実なのはDVD-Rです。恐らくどのタイプのプレーヤーでも再生できるでしょう。

* データ用と音楽録画用の違いは?

同じものです。音楽録画用のものは、音楽や映像コンテンツを記録することを前提に著作権料が上乗せされ、少し高くなっています。

データ用と音楽録画用の違いは、データ用はデジタル放送を録画する場合は、これでないと録画できません。

* Blu-rayもあります。

25GBと異なり、規格は一つです。
50GBと容量も十分です。



作成した DVD を配布するようなときは、パソコンやプレーヤーの多くが対応している DVD-R が無難です。

プレーヤーにも注意
メーカーによつても対応が異なります。よく説明書などを確認しておきましょう。

	DVD-R
	DVD-R DVD-RW
	DVD+R
	DVD+R DVD+RW
	DVD-R DVD-RAM
	DVD-R DVD-RW DVD-RAM

片面2層対応のドライブには「DL」の文字があります。

(スーパーマルチはマルチに「+タイプ」も加わったものです。)

●★それではまた次回!★

これだけ知つていれば、もうこれを見なは迷いませんよね。